

1 主題名 たいせつなわたし 3-(1) 生命尊重

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

内容項目3-(1)は、「生きることを喜び、生命を大切にすることをねらいとしている。これは、生命の大切さに関するものであり、生命あるものすべてをかけがえのないものとして尊重し、大切にしようとする児童を育てようとするものである。

日々の様々な出来事が、子どもたち自らが授かった「いのち」とともにあること、毎日、生活できるのは、自分が生きているからだということに気付せることで、生命の大切さを自覚し、より前向きに生活する心情を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、アンケートの結果から家族や友達など自分や周囲の命あるものを大切に思っている児童が多いことがわかる。自分の名前についてはほとんどの児童が気に入っているが、その理由は曖昧なものもある。

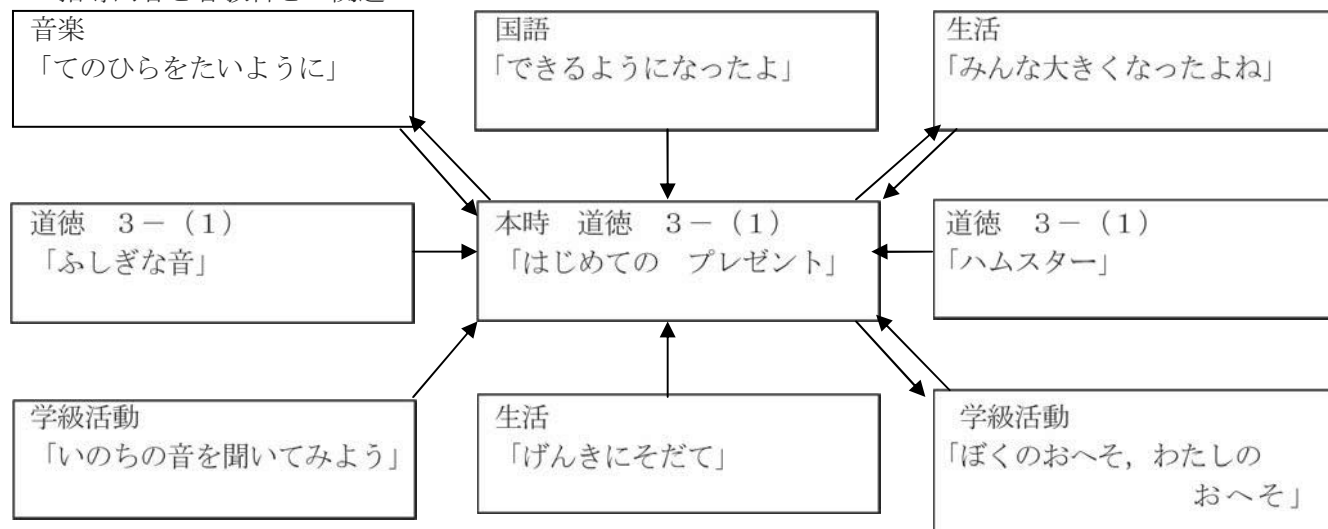
\*月\*日 (\*人調べ)

<p>1. あなたにとって、いちばん大切なものは何ですか。                  命*人 家族*人 友達*人 ペット*人 ぬいぐるみ*人 ゲーム*人 漫画*人</p> <p>2. あなたは自分の名前が好きですか。 はい *人 いいえ *人                  (理由) 好き：家族がつけてくれたから、かわいい・かっこいいから、呼びやすいから                  嫌い：よくある名前だから、漢字が難しいから、からかわれるから</p>
---

(3) 資料について (資料名：「はじめての プレゼント」 自作資料)

本資料は、自分の名前についてからかわれた主人公が、父親から自分の名前に込められた思いや、周囲の人たちのことを聞き、自分の名前やこれからの生き方について改めて考えていく内容である。自分の誕生を周囲の人々が待ち望み、生き方の願いを込めて名前が贈られていることを知ることで、感謝の気持ちをもつとともに、自分がこの世にただ一人のかけがえのない存在であることを実感し、未来や夢に向かって希望をもち前向きに生きていこうとする心情を育てたい。

3 指導内容と各教科との関連



○ 生活科の「みんな大きくなったよね」では、小学校に入学するまでの自分の様子について、聞いたり調べたりする学習を通して、自分の成長には様々な人の支えがあったことに気付いていく。本時の道徳の時間では、未来に向かって明るく元気に生活していこうとする心情を深化することで、生きる喜びを感じることに繋がっていきたいと考えた。

#### 4 本時の指導

##### (1) ねらい

- 自分の名前には周囲の人々の願いが込められていることや、自分が周りの人に支えられ生きていることに喜びを感じ、希望をもって前向きに生活していこうとする心情を育てる。

##### (2) 資料

- 場面絵
- ワークシート
- 保護者からの手紙

##### (3) 展開

	主な活動と発問 ●中心発問	予想される児童の反応	支援の手だて ◎個に対する配慮や支援 <b>深化を意識した工夫は太文字</b>
導入 5分	1 「名前」について、自分の考えを話す。 ○自分の知っている名前で、いいなと思う名前がありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ルフィー」がかっこいい。</li> <li>・「かすみちゃん」がかわいいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の経験や好きなキャラクターなどから自由に発想させ、本時のねらいの方向付けをする。</li> </ul>
展開 35分	2 資料「はじめてのプレゼント」を聞き、話し合う。 ○ゆうちゃんから「しんごうき」と言われた信吾くんはどんな気持ちになったでしょう。  ○お母さんはなぜかなしそうな目をしてだまっていたのでしょうか。  ●お父さんの話を聞いた信吾くんはどんなことを考えたでしょう。  3 保護者からの手紙を読んで自分の名前にこめられた家の人たちの思いを知り、気付いたことを書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆうちゃんはいじわるだな。</li> <li>・こんな名前はいやだな。</li> <li>・こんな名前だから悪口を言われるんだ。</li> <li>・信吾くんがかわいそうだから。</li> <li>・心をこめてつけた名前を嫌だと言われたから。</li> <li>・名前はお父さんやお母さんがはじめてくれたプレゼントだったんだね。</li> <li>・いやだと思っていたけれど、すてきな意味があったんだな。</li> <li>・お父さんとお母さんが名前を一生懸命考えてくれてうれしい。</li> <li>・違う名前にしてって言ってごめんさい。</li> <li>・素敵な名前をつけてくれてありがとう。</li> <li>・名前のような人になれるようにがんばるね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を前半と後半に分けて読み、信吾くんの心情の変化について考えていく。</li> <li>・自分の名前を悪く言われて泣きじゃくる信吾くんの気持ちに共感できるようにする。</li> <li>・だまってしまったお母さんの心情も考えさせることで、ねらいにせまっていく。</li> <li>・ワークシートを用意し、児童一人一人にじっくりと考えさせたい。</li> <li>・<b>名前には、家の人</b>の思いや願いが込められていることに気付けるようにする。</li> <li>◎考えが書けない児童には、お父さんの話の内容を確認し、信吾くんの心情を考えるよう助言する。</li> <li>・<b>手紙を読んで、自分の名前に多くの思いが寄せられていることを知り、多くの人に望まれ、支えられて生きている喜びを感じられるようにする。</b></li> </ul>
終末 5分	4 教師の説話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の思いについて触れ、自分がかげがえのない存在であることを感じさせる。</li> </ul>

#### 5 評価

- 自分が、多くの人に望まれ支えられて生きている喜びを実感をもって感じられたか。
- 希望をもって生きていこうと思うことができたか。

「はじめての プレゼント」

「わあん、お母さん。ぼく、もういやだよ。」

家に帰った信吾くんは、ランドセルをせおったまま、わんわん泣き出してしまいました。

「あら、まあ。信吾、どうしたの？」

いつも泣かない信吾くんの大つぶのなみだに、お母さんはびっくり。

「今日も、ゆうちゃんに、『しんごのしんごうき』って、言われたんだよ。」

「まあ・・・。」

「何回も『しんごの信号、赤、青、黄色。しんごうき～！』って言うんだよ。なんでぼく、しんごなんてへんな名前なんだろう。もう、しんごなんていやだよ。もっとかっこいい名前にしたいよ。ねえ、違う名前にしてよ！うわあん！」

そう言って、信吾くんはまた泣き出しました。お母さんは、かなしそうな目をして、だまってしまいました。

夜になって、お父さんが帰ってきました。さっそく、信吾くんは、今日のことをお父さんに話しました。

「だからさ、ぼくも『ひろと』とか『しょう』とかの名前がよかったのに。もう、しんごなんて名前はいやだからね。」

「そうかい。」

と、お父さんはしずかに話しだしました。

「信吾の『信』っていう字は、『せいじつ』っていう意味があるんだよ。だれにでもまごころをつくしてやさしくできる人になってほしいっていうねがいがこもっているんだ。信吾は、280日もの長い間、お母さんのおなかの中にいたんだけど、お父さんもお母さんも、生まれてくるのが楽しみで楽しみで、毎日、あの名前がいいかこの名前がいいかっていろいろ考えたんだ。そして、いちばんいいと思ったこの名前をプレゼントすることにしたんだよ。信吾、きっとおまえも気に入ってくれると思っていたんだけどね。」

信吾くんは、だまってお父さんの顔を見つめました。